

「交流サロン」だより

in 大仙 1月号

2023

十年に一度の大寒波と言われてから

四日が過ぎようとしています。本当に底冷えする寒さで目を覚ましてしまう日々、ただ、降雪の少なさに助けられています。雪国は、仕事が無い割に、やる人が多いですね。雪よせに屋根の雪下ろし、更にその排雪作業など・・・秋田は幸いにして関西のような風雪による列車や高速の立往生の発生もなく、また大雪にも今のところなっていないせん、ここ数日の雪雲の動きを観察していると、まるで秋田県を避けているように見えます。ありがたや!!ありがたや!!・・・このまま終わってもらいたいものです。関西の例は、自然災害と人災が重なってしまった結果のように感じます。「明日は我が身」お互いに危機意識を高め自然災害に対峙していきたいものです。次は明るいお知らせ、二年ぶりに谷京子さん率いる「グループかぜ」の皆さんによる読み聞かせ「元気!!と笑顔!!でつながる輪」パートⅢを開催することにしました。詳しくは別紙のチラシを参照してください。まだまだコロナ禍の中ですが感染予防には各段の注意を払って行いますので、ご協力お願い致します。

マイフォト一言

五十五年ぶりに体験した「堅雪渡り」、この日の気温はマイナス7℃、天気は、つかの間の晴れ、絶好の「堅雪」日和で凍えるほど、寒い今朝でした。お陰で雪の田圃をスタスタと歩くことが出来、朝陽に輝く電車を捉えることができた次第です。思い出すと中学生以来の「堅雪渡り」だなど、郷愁に浸ると同時に当時の生保内線（現・田沢湖線）を走る汽車（蒸気機関車に引かれる列車）の姿が浮かび上がってきました。その当時、デジカメがあれば、撮りまわっていたでしょう。

マイフォト「堅雪の日」 令和5年1月19日 AM7:16 撮影



1月19日撮影

堅雪で調子に乗り、場所を変えて、もう一枚、モノクロの世界に、色を添えるのは、電車だけかな!!

調子に乗りました!!



2月の交流サロン
2月26日(日)
「グループかぜ」の皆さんに「読み聞かせ」の公演をお願いしております! 詳しくは、別紙のチラシをご覧ください。
参加費(大人五百円)

なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては中止となることも予想されます。予めご了承ください!!

今月の「交流サロン」から!!

今月は、被災地（岩手・宮城・福島）と秋田の郷土料理を作ると言うテーマでした。被災地の料理は、秋田の方に知ってもらおう異文化交流を目的としてこれまで毎年行ってきました。今回は、宮城県から「油麴」、秋田県からは「きりたんぽ」を選びました。油麴（仙台麴）と言うくらいで、麴を油で揚げたもので煮付けると肉の代わりになるほどコクが出ます。それを干椎茸、人参、筍などを椎茸の戻し汁で煮込みました。本日のメニューは、きりたんぽ鍋、先に述べた煮物、ワサビ菜のサラダ、白菜漬（昆布出汁）、生のワサビ菜サラダは意外と好評でした。



本日は、そば定食!!

東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇九六七〇二八五二